

# Independent

令和4年4月28日 発行

No.2

美瑛町すだちの教室通信



## すだちの教室では どんなことをするの？

すだちの教室では、一人ひとりのニーズに合わせた指導（自立活動）を行っています。

自立活動は、周囲や子ども自身が、自分の特性を理解し、得意な部分を生かして苦手なことを補うための具体的な方法を学ぶことで、学習上または生活上の困難を和らげることを目標としています。活動を通して「自己理解」（得意なことや苦手なこと、得意な学び方、苦手を補うための手立て等）を深め「自己選択」「自己決定」「自己コントロール」の力を育てます。内容は、裏面の6区分27項目からその子にあった内容を選択し行います。



図1 月刊「実践みんなの特別支援教育」4月号より

すだちの教室では、生徒が上手く活動に参加できない背景を整理して、高めたいスキルや支援を生徒と一緒に考え実践します。

例えば図1では、文字の視覚的な捉え方、聴覚の短期記憶、書くことの苦手さ、注目するポイントがわからない等の背景が考えられます。

図2では、ルールがわからない、気持ちを言葉で伝えることが苦手、他者視点が苦手等の背景が考えられます。



図2 月刊「実践みんなの特別支援教育」4月号より

次に、主体的に取り組むための手立てを考えていきます。

自立活動は、子どもたちにとって難しいところ、苦手なところにアプローチしていく学習です。だからこそ、好きなところや得意なことを生かしながら、前向きに取り組める工夫をしていきます。

子どもたちにとって「楽しい!」「できた!」と思える活動を行いたいと考えています。

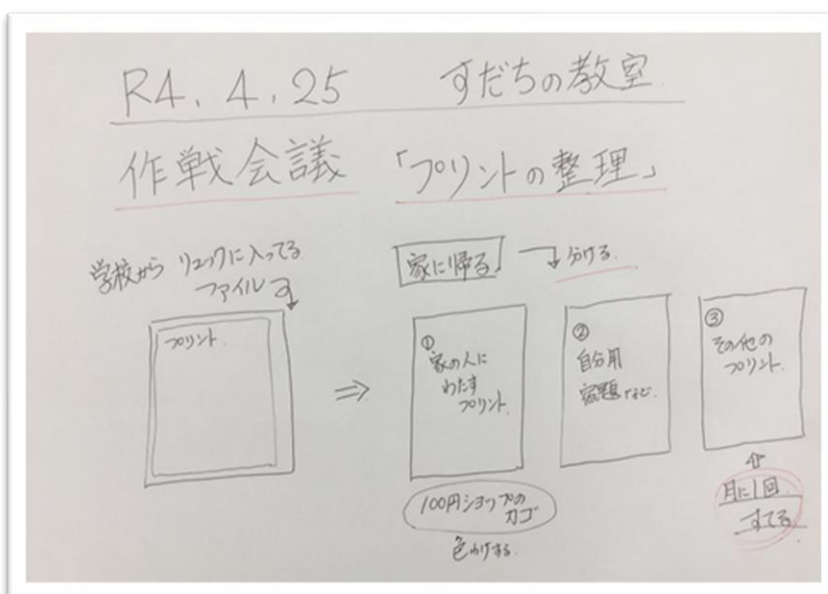
<5月の予定>



### 自立活動の内容(6区分 27項目)

<b>1 健康の保持</b>	<b>2 心理的な安定</b>
(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。 (2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事。 (3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事。 (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事。 (5) 健康状態の維持・改善に関する事。	(1) 情緒の安定に関する事。 (2) 状況の理解と変化への対応に関する事。 (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。
<b>3 人間関係の形成</b>	<b>4 環境の把握</b>
(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。 (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。 (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。 (4) 集団への参加の基礎に関する事。	(1) 保有する感覚の活用に関する事。 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事。 (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。 (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事。 (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。
<b>5 身体の動き</b>	<b>6 コミュニケーション</b>
(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。 (2) 姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関する事。 (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。 (4) 身体の移動能力に関する事。 (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。 (2) 言語の受容と表出に関する事。 (3) 言語の形成と活用に関する事。 (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。

図3 自立活動ってなんだろう？(島根県教育センター) より



#### 〈自立活動の実践例〉

- プリントを出し忘れやすい
- 整理整頓(分類)が苦手

作戦をたてるときは、紙に書いて視覚化します。

一緒にスケッチブックに書いたことなど、場面がエピソード記憶として残り、思い出しやすくなります。また、忘れたときも見なおすことができワーキングメモリの負担を減らします。

①家の人に見せる ②自分用(宿題) ③その他 のカゴを準備し分類します。